

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム寿生の家

施設種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）
 デイサービス

日時： R8年 9月 24日 15時00分～ 16時00分

会場： 寿生苑 会議室

出席者
 （人数）

利用者代表	0人	有識者	2人
利用者家族	2人	高齢者あんしん支援センター職員	1人
地域住民の代表	2人	出雲市職員	0人
その他（事務長、管理者、ユニットリーダー）			4人

1、利用者様状況報告（9月21日現在）

利用者数：桜棟 8名 梅棟 9名 （男性 2名 女性 15名）

介護度分布：桜棟 要介護 1：4名 2：2名 3：2名 4：0名 5：0名
 梅棟 要介護 1：2名 2：4名 3：2名 4：0名 5：0名

平均介護度：桜棟 1.8 梅棟 2.0 全体平均 1.9

平均年齢：桜棟 91.4歳 梅棟 90.4歳 全体 90.9歳（最高齢 101歳 最年少 85歳）

待機者：21名

入退所：8月17日桜棟で1名県中入院にて外泊。8月26日より9月13日まで空床利用のショートステイ1名あり。GHへ退院できるよう県中相談員などと検討したが、食事の摂取量が上がらず（眠いため）点滴は外せないという医師の判断により、退所となった。

現在、次の入所に向けて調整中

在所期間：7ヶ月目～19年11ヶ月目

2、行事・活動について

8月7日 夏祭り

今年は花火の価格高騰もあり、花火大会をやめて夏の縁日を想像するような夏のお祭りを開催した。風鈴や夏のせせらぎを感じられるような飾りつけをし、縁日のかき氷や的当て、スイカ割りやボウリングゲームで楽しんでもらった。

かき氷は普段とろみをつけて水分摂取するような方でもむせずに食べられ、新たな発見だった。今後夏の水分補給にはうまく取り入れられると良いと思った。

8月22日 出雲商業の合唱コンサート

出雲商業の生徒さんと先生6名がデイサービスに来られ、一緒に鑑賞させていただいた。とてもきれいな歌声だった。

8月28日 ギタージョイントコンサート（職員による）

職員によるギターとエレキギターの演奏と歌をデイサービスの方と一緒に鑑賞した。利用者様が口ずさむ曲や、職員がテンションが上がる曲、エレキ演奏もあり、刺激的な時間だった。

9月13日 塩冶コミセンへ

ご案内をいただき、利用者様3名と職員2名でお邪魔した。

お土産までいただき、楽しいひと時だったと思う。

9月18日 敬老会

・今年も昼食を一般の外部業者に発注した。いろいろなものが少しずつ、品数多く入っているお弁当だったが、それに吸い物、シャインマスカットとイチジクのデザ

ート、施設で漬けた奈良漬けを付けた。食材を細かく刻む必要のある方はいつもの食事にプラスして提供した。皆様とても喜んでくださり、普段以上に召し上がられた。

- ・ 午後は銭太鼓・手品のボランティアさんが来られ、楽しいひと時となった。
- ・ 紅白饅頭でお茶会を行った。

予定

10月30日・11月5日 遠足（花の郷）

ご家族にも案内をして、一緒に行ける方は現地集合していただく。外食が出来る方はご家族と一緒にビアムーンで昼食を摂って帰る予定。花の郷では温室内でお茶会をしたりしてお花の鑑賞にプラスして楽しんでいただけたらと思っている。

11月 秋祭り
詳細は未定

通常の活動 普段の家事作業、壁画づくりとして折り紙、切り紙、貼り絵など、塗り絵、おやつ作り、風船バレー、歌、料理、散歩、病院から依頼を受けたハンドロール作り、スカットボールなど。寿生病院玄関への展示も継続して行っている。現在は梅棟作成の「招き猫のちぎり絵」を展示している。題字は桜棟の方に書いていただいた。

体操はラジオ体操や棒体操、嚙下体操、そして寿生苑のリハビリ専門職の方から指導された個別の機能訓練なども継続して行っている。

3、学生実習受け入れについて

9月と10月に出雲医療看護専門学校の学生の実習の受け入れを行っている。1年生のためほぼ見学実習となる。利用者様とのコミュニケーションやグループホームとはどういう施設か、職員はどのように対応をしているか、などが主な目的となる。最初は緊張していた学生さんも終わってみたら「楽しかった」という感想だった。認知症があってもできることはたくさんある、認知症の方とのコミュニケーションの仕方が勉強になった、グループホームでは楽しく穏やかに暮らせる、など感じてもらえた。

4、防災BCPについて

・9月30日に防災訓練（夜間想定火災避難訓練・消火訓練）を行う予定となっている。いつもの通り初期消火から避難までを行う。自動通報装置で連絡を受けた人が応援に来るという想定で4名の応援者がある。夜間なので危険のないように外へ出なければならないので、各棟でまとまって、夜間反射帯を付けてから外へ避難する。

訓練としてはそこまでだが、実際は外に避難した後夜間の暗い中、利用者様をどう守るか、また、最近の線状降水帯発生の集中豪雨は想像を絶するものだと感じている。施設が高い所にあるとはいえ、水がもっと高い所から駐車場を流れて施設の方へ大量の水が流れ込めばどうなるのか？など考えればきりが無い。

最低限の避難方法や持ち出し物品などについても検討しておくことも必要か、と考えている。記録が電子化され、パソコンやハードディスクをどのようにすればいいのか、など検討が必要だと思う。

・職員の災害等緊急時の安否確認などについて

SmartHRを活用して職員や家族の安否、出勤できるか、などの確認が出来て良かったと感じている。

5、感染対策等について

・今年はすでにインフルエンザの集団感染の発生もあり、心配しているが、利用者様に発熱や風邪症状などは見られず、問題なく生活されている。

・面会は症状のない方は「居室にて1時間以内」を継続している。小学生以下の面会も可能で制限は緩くなっている。

職員

- ・引き続き基本的な感染対策は継続している。休憩や食事も個別で摂っている。(そういう習慣になってしまっている)
- ・常時体調チェックして、発熱などあれば無理に出勤しないようにしている。

6、次回運営推進会議

今回は 11 月 27 日（木）デイサービスと合同の会議となる。会場などは後日ご案内したいと思う。

7、意見交換

<家1>8月、9月はまた変わった行事があつて楽しく過ごしていたのだと思う。イベントに来てもらえるボランティアの人たちを探すのが大変なのでは？

<管>今回の敬老会では以前職員だった方が入っておられる銭太鼓の方々が来てくださり、「また呼んで」と言われた。またデイサービスの敬老会ではこちらも職員のつながりで安来節保存会の方が来てくださった。とても楽しかったので、また来ていただきたいと思っている。

<家1>痰や咳の風邪が流行っている。インフルエンザも流行が早かったので、対策など大変だとは思いますがよろしくお願いします。

洗濯洗剤代に関しては、結局やめられたのか？物価が高騰しているから心配していた。家族としては洗濯をしてもらって助かっているが…。

<管>市のほうから一律いくらということで徴収はできないと言われた。本人の物だけを洗濯するわけではないし、人によって洗濯物の量も違うし…とのことで取りやめた。

<有1>うちの施設でも洗濯は開設から施設で行っているが、洗濯代はもらっていない。家族からすると洗濯がとても大変なので。しかし、洗剤代も上がり、洗濯の手間も大変で、洗濯代をいただきたいところだ。

<家1>よその施設では個別に外部に依頼していてとても高いと聞いた。

<管>なかなか難しい。何か対策があると良いと思うが…。安いカタログなどでの購入を考えていきたい。

<家2>夏祭りの時にちょうど面会に来ていて行事に参加させてもらった。普段は面会の時に家だよりの写真などのことを本人に聞いても、「覚えてない」と言っていたので、どんな風なんだろうと思っていた。とても賑やかだったが、利用者の相手をするのは大変な苦労だな、と感じた。

<管>以前はご家族にご案内をして一緒に行事に参加していただいていたが、コロナ以降、なかなかそこまでの行事ができていない。今後考えていけると良いと思う。

<地1>感染対応というか、コロナ以降食事などの休憩を別々に…とのことで、大変だと思うが頑張してほしい。

<地2>防災について、施設が高いところにあるので水害は考えにくいですが、他の災害を見ていると想定外のことがたくさん起こっている。「出雲は神様に守られている」と言う人も多いが、職員の安否確認は大事なことだと感じた。

<事>先日レベル4の避難情報が出た時に寿生苑の職員役100名と寿生の家の職員約30名に予告なしにsmartHRを利用して連絡訓練を行った。一斉送信で全員に連絡が届いたことが確認できた。返信についてはその時気づかなかった職員もいたが、緊急時には今後活用していくと良いと考えている。

塩冶地区の福祉大会については寿生苑にもご案内をいただいていたが、なかなか出かけられないが、グループホームの方が出られて良かった。

<リ>利用者様3名、職員2名で参加させてもらい、アルファ米の赤飯やお菓子もたくさんいただいた。利用者様もとても楽しんでおられた。

<有1>小規模多機能事業所をやっているが、近くに川があるので、氾濫したら…と気にしている。避難する際にヘルメットや防災頭巾があると良いと思って準備している。座布団を縫い合わせてもできる。

ボランティアの方へ謝礼金などは渡しているのか？

<管>実は渡していない。依頼するときに確認はするが、必要ないと言われることが多いので“皆さんで”とお茶菓子を渡している。

<あ>ヘルメットに関して、職場で折りたたみのヘルメットを支給されたので、準備している。

101歳の方がおられるようだが、島根県は100歳以上の方が第1位という状態が続いている。100最上の方の介護は大変だと思っている。

“現在入所検討中”とのことだが、申し込みはできるか？在宅で困っている人はすぐにでも入りたい方が多い。

<管>今回の空きで待機の方に連絡をしていったが、すぐに入りたいという方がおられない。まだ、家で頑張れる、とか、施設（サ高住など）でまだ生活できる、と言われた。こうなると入所は申し込み外の方になる可能性がある。まだ、返答のない方もあるので、また、連絡したいと思う。

<有2>行事もたくさんあり職員さんの日々の努力は感心して見させてもらっている。

GH 寿生の家が開いているのは珍しい。いつ相談しても満床という状態だったので貴重な空きだと思う。

<リ>今年、花火の高騰のために花火大会は夏祭りに変更して行った。ゲームのやり方などもっと改善して楽しんでもらえるようにしたいと思った。10月は遠足を行う。ご家族にも連絡をして、現地集合できる方は一緒に楽しんでもらいたいと思う。

<管>次回はデイサービスと合同の運営推進会議となる。会場は寿生病院の6階大会議室になるのではないかなと思うが、改めてご案内をしたいと思う。

以上